

- 2面 日造協 平成29年度事業計画の概要  
【学会の目・眼・芽】 街路樹について思うこと  
(公社)日本造園学会 北海道支部長 (株)ドーコン 大塚 英典
- 3面 日造協の資格認定制度  
街路樹剪定士、植栽基盤診断士、登録造園基幹技能者  
全国都市緑化よこはまフェア ガーデンネックレス横浜2017
- 4面 【ふるさと自慢】栃木県 増田 博一 (株)増田造園  
歴史と文化のまち「足利市」 足利氏発祥、日本最古の学校も  
【緑滴】石川県支部 松崎 紀子 (株)岸グリーンサービス  
和のアロマ



第2回通常理事会のようす

第2回

通常理事会を開催

事業計画・収支予算(案)など審議・承認

平成28年度第2回通常理事会を3月30日、東京都千代田区紀尾井町の都市計画協会会議室で開催し、平成29年度事業計画案及び収支予算案など3議案を審議、承認した。

第2回通常理事会は、まず藤巻司郎会長が挨拶。「理事、監事の皆様には、年度末の大変お忙しいところ、ご出席いただきまして、ありがとうございます。また、国土交通省 公園緑地・景観課長の町田様には、公務ご多忙の中、ご臨席を賜り誠に有難うございます。常日頃、日造協に対しまして多大なご支援、ご協力をいただいておりますこと、心から御礼申し上げます。さて、造園建設業界を取り巻く最近の状況は、担い手3法を契機に大きく変化してきたと感じております。日造協として長年にわたって取組んできた要望・提言活動が実を結び、労務費単価の改善やダンピング対策の強化、また公共事業費の維持・確保が図られるようになりました。しかし、依然として将来的な事業見通しが不透明な局面が続いている中で、技術・技能者の高齢化や若手入職者の減少、これに伴い造園技術・技能の円滑な承継が困難になるなど、構造的な諸問題が生じており、その対応が喫緊の課題となっております。今後とも、全国組織である日造協の果たすべき役割をしっかりと心にとどめ、機会あるごとに事業量の確保や「担い手の育成・確保」などの取組みを通じて、会員の方々のご期待に応えるとともに、造園建設業の更なる発展と安全・安心で緑豊かな美しい国土づくりに、貢献していきたいと考えております。本日は、来年度の事業計

画及び収支予算等につきまして、ご審議をいただくこととしております。ご審議の程、よろしくお願い申し上げます。」と述べた。

次いで、国土交通省からの情報提供として、町田誠公園緑地・景観課長が平成29年度事業の概要などを紹介。

このうち、都市緑地法等の一部を改正する法律案については、①まちづくりにおける公園、広場、緑地、農地等のオープンスペースの多面的な機能の発揮、②緑豊かなまちづくりに向けての量的、質的課題の顕在化、③地方公共団体の財政・人材面の制約などによる新規整備や適切な施設更新等の限界と、法改正の背景・必要性を紹介。法案では、①都市公園の再生・活性化で、「公園内の保育所等の設置」、「公共還元型の収益施設の設置管理制度の創設」によるカフェなどの設置、許可期間の延伸(10→20年)、民間事業者の公園リニューアルの実施、「公園内のPFI事業に係る設置管理許可期間の延伸(10→30年)」、「公園の活性化に関する協議会の設置」。②緑地・広場の創出で、「民間による市民緑地の整備を促す制度の創設」、「緑の担い手として民間主体を指定する制度の拡充」。③都市農地の保全・活用で、生産緑地地区の面積要件の市区町村条例による引き下げ(500→300㎡)、直売所・レストラン等の設置を可能にするほか、新たな用途

研究所住宅・都市研究グループ上席研究員) 大臣官房付(退職)＝松江正彦(国営昭和記念公園事務所長) 国営昭和記念公園事務所長＝伊藤康行(大津市副市長) 辞職(3月31日付)(大津市副市長)＝井村久行(都市局都市計画課環境計画調

人事異動

国土交通省都市局関係 (3月30日付) 都市局公園緑地・景観課付＝酒井翔平(在ケニア共和国日本国大使館二等書記官) (4月1日付) 大臣官房付(退職)＝加藤真司(建築研

樹林

(一社)日本造園建設業協会理事  
花豊造園(株)代表取締役社長 山田 拓広



世界に広がる日本庭園への期待

今から30年程前、まだ学生だった私はモザンビークの首都マプトを訪れた。近年では日本の経済開発のターゲットとなっているが、その頃はいかにも発展途上の国という印象であった。

コンクリートの建物が雑多に建てられた街を歩いていると、「日本人か？」と声をかけられた。自分の家に日本庭園があるから見に来いと言う。

こんなところに日本庭園があるのかと半信半疑でついて行くと、そこは小さなホテルだった。池が作られ、中島へ赤い反り橋が架けられている。

池の周りには護岸らしく石がならべて置いてある。「どうだい、すばらしいだろう。最近日本人が来なくなったけれど、またここへ呼んできてくれよ」。そう話す彼の表情はとても誇らしげだった。

かつては遠洋漁業の日本船が休憩に立ち寄っていたのだろうか。水の枯れた、熱帯性植物が植わっている庭を見ながら、本当の日本庭園を見てもらいたいな、彼はどんな顔をするのだろう、と想像していた。

今年度より海外の日本庭園についての再生プロジェクトが始動する。10年程前に造園学会で調査したデータでは、海外に作られた日本庭園は、公共団体関係のものだけで世界に100カ国以上、500ヶ所を超えていた。

最初に海外で日本庭園が作られたのは、1873年のウィーン万博とされている。日本庭園は欧米の方々にも興味を持たれ、19世紀から20世紀はじめには、万国博覧会において日本文化を紹介する一環として作られた。

地域の類型として田園居住地域を創設。これらにより、「緑の基本計画」の記載事項の拡充など、地域の公園緑地政策全体のマスタープランの充実、民間活力を最大限活用して、緑・オープンスペースの整備・保全を効果的に推進し、緑豊かで魅力的なまちづくりの実現を図るとした。

議事では、①平成29年度事業計画(案)及び収支予算(案)について、②給与規程の改正について、③会員の入会についてを審議・承認した。

そのほか、報告事項として、(1) 会長、

整官) 都市局都市計画課環境計画調整官＝湯澤将憲(都市緑化技術研究所上席総括研究員) 辞職(3月31日付)(神奈川県県土整備局大規模公園担当部長)＝鹿野央(大臣官房付)(滋賀県土木交通部技監)

また商業施設のアミューズメントパークとして、個人庭園として、植物園などでは池泉回遊式や枯山水などのテーマガーデンとして、また日系移民コミュニティで作られたものなどもある。姉妹都市締結の記念として作られたものも多い。

経緯は様々だが、どの庭園も日本文化、国際理解の交流使節としての役割を果たしてきたと言えるだろう。けれどもその多くはメンテナンスに問題を抱え、支援の要請が寄せられていた。

海外での日本庭園への関心は高い。シンポジウムやワークショップを開催すると、専門とされている方から一般の方まで、本当にたくさんの方が参加される。自然風景を映した思想、精神性についての関心が高いようである。

今日ではアメリカ、カナダを中心に北米日本庭園協会が作られ、また西欧各国にも日本庭園協会があると聞く。各々で日本庭園の歴史、思想、作庭管理技術を学ぼうと熱心に活動されている様子である。

これまでも日造協は国際園芸博覧会協会はじめ国際機関、団体と連携し、日本の造園建設業の周知と造園技術の交流、活用を行ってきた。

今後は更に海外の日本庭園の適切な管理を目的とした海外組織との連携、ビジネスの展開、また日本庭園文化の世界無形文化遺産登録などについて取り組んでいかなければいけないだろう。

会員の皆様のご協力を切にお願いしたい。

業務執行理事の職務執行状況について、(2) 第43回全国造園デザインコンクールの実施結果について、(3) 全国高等学校造園教育研究協議会との包括協定の締結について、(4) 全国造園フェスティバル2016の結果報告について、(5) 平成28年度資格制度の実施報告について、(6) 日造協年間スケジュールについて、事務局より説明を行った。

平成29年度

通常総会

講演会・意見交換会

6月23日(金)14:00～  
ホテルグランドアーク半蔵門  
東京都千代田区隼町1-1

☎03-3288-0111

会員の皆様のご参加をお願いいたします。

法定福利費の内訳を明示した標準見積書の活用により、法定福利費の確保を図りましょう！

# 平成 29 年度 事業計画の概要

平成 28 年度第 2 回通常理事会（記事 1 面）で、平成 29 年度事業計画案を審議・承認しました。本号では、事業計画案について、Ⅰ全文、Ⅱ項目のみご紹介します。

## Ⅰ．造園建設業を取りまく状況と基本的対応方向

造園建設業界を取り巻く状況は、日造協が長年にわたって取組んできた要望・提言活動が実を結び、「担い手 3 法」の施行に伴い労務費単価の改善やダンピング対策の強化措置等が着実に講じられ、また公共事業費の維持・確保も図られるようになり、ここ数年間で大きく変化した。

しかし、依然として将来的な事業見通しが不透明で、積極的な投資判断を下すには難しい局面が続き、また技術・技能者の高齢化、若年入職者の減少と新規入職者の離職により技術・技能の承継が困難になる等の構造的な問題が顕在化しており、これらへの対応が喫緊の課題となっている。

このような中、私たちは、時代を先取りし、次代を担う人材の確保・育成や造園力（ゆるぎない技術力・洗練された文化力・豊かな創造力）の向上に力を注ぎつつ、造園力の発揮機会の拡大に向けた「造園」の社会認知度の向上・受注環境の改善等の要望・提言活動の展開や法定福利費の確保・安全衛生管理の徹底等による雇用環境の改善に取組むことにより、誰もが安心して健康に働くことができる環境づくりを進めながら、国民の要望に的確に応え、人と自然が共生する持続可能な社会を形成し、次世代に継承する社会的使命を果たす必要がある。

とりわけ、少子・高齢化、国土強靱化、国際化、高度情報化など経済社会の潮流の変化を新たな視点で捉え、若手入職者の確保・育成や女性の活躍環境、災害発生時の支援活動、海外日本庭園の保全再生など将来の発展基盤となる共通ツールの企画・開発や技術の標準化など、中長期的な視点に立って造園建設業の明るい未来を切開く取組みを重点的に推進することが重要となっている。

また、東日本大震災復興事業における

緑の再生の加速化、熊本地震災害復興事業の推進、国土強靱化政策による防災・減災対策の実施、2019 年ラグビーワールドカップや 2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた本格的な準備、観光立国として外国人観光客にとって魅力ある「おもてなし」環境の整備への取組みなどインバウンドの促進等への要請に造園建設業界の英知と造園力を結集し、取り組んで行く必要がある。

## Ⅱ．平成 29 年度事業の実施方針

「第 2 次財政・運営中期計画」（平成 27 年 3 月 30 日理事会承認）で掲げた「今後の財政・運営の基本方向」に沿って、一般社団法人としての活動の強化、財政基盤の強化、会員にとって魅力ある日造協活動の展開、連携の強化による組織運営を図ることに軸足を置き、以下の諸事業を重点的に推進するものとする。

- （1）担い手の育成・確保に向けた取組の強化
- （2）造園力の発揮機会の拡大に向けた取組の強化
- （3）資格制度の実施と各種資格の取得の促進
- （4）事業運営の重点化・効率化と会員拡大プロジェクトの強化・組織運営の効率化
- （5）東日本大震災復興事業・熊本地震災害復興事業への支援

## Ⅲ．平成 29 年度事業計画

### 第 1 主要な会務の実施

財政の安定化と組織の強化を図るため、総会・理事会の決議等に基づき財政基盤強化策の具体化、経費削減の徹底、会員拡大プロジェクトの推進や本部・総支部・支部の役割分担の一層の徹底・連携等による効率的・効果的な組織運営に取組む。

- 1．総会
- 2．理事会

- 3．総支部長・支部長合同会議
- 4．会員拡大プロジェクトの推進

### 第 2 造園技術、造園資材、造園工事施工の合理化及び造園業の経営の改善に関する調査研究

- 1．会員の実態調査
- 2．社会保険等未加入対策、若年入職者の確保策の検討
- 3．造園施工技術、造園工事の安全対策の検討
- 4．植栽基盤技術、植栽育成管理技術、造園関連資材の品質基準等の検討
- 5．街路樹剪定等に関する調査研究
- 6．日造協活動の戦略的展開に関する調査研究

### 第 3 公園緑地、道路、河川、住宅、工場、学校等の緑化行政に対する協力

- 1．公園緑地、学校等の緑化行政に対する協力

### 第 4 造園技術に関する国際交流及び協力の促進

- 1．国際園芸家協会（A I P H）の活動への参加
- 2．造園関係の国際機関、団体との交流
- 3．海外の日本庭園の保全再生等への協力
- 4．新たな造園ビジネスの展開と情報の収集・発信
- 5．海外視察ツアーの実施等
- 6．国際園芸博覧会開催への協力

### 第 5 造園業に関する情報、資料の収集、提供

- 1．技術・技能の向上、経営の改善等に向けた情報提供
- 2．造園技術フォーラム等による技術情報の共有化
- 3．安全衛生対策の推進
- 4．行政情報等の提供
- 5．会員名簿の発行

### 第 6 関係行政庁その他関係機関への政策提言、建議、要望等

- 1．要望・提言活動
- 2．行政との意見交換会

### 第 7 造園技術者及び技能者の養成、資格の認定並びに研究会、講習会等の開催

- 1．技能五輪大会参加、協力
- 2．第 44 回全国造園デザインコンクールの実施
- 3．研修会等の開催
- 4．担い手の育成・確保事業の推進
- 5．造園技術に関する資格認定事業（1）資格の認定試験、認定、更新の実施（2）公的資格に関わる講習会の開催（3）資格制度の安定的運営（4）新規資格制度の構築にむけた検討等
- 6．会員のための福利厚生事業及び会員支援事業

### 第 8 造園・環境緑化に関する普及啓発及び広報活動並びに機関紙、図書の刊行

- 1．全国造園フェスティバル等の開催
- 2．機関紙の発行等
- 3．図書の刊行

### 第 9 その他本会の目的を達成するために必要な事業

- 1．社会貢献活動への取り組み
- 2．造園・環境緑化産業振興会の活動
- 3．表彰
- 4．雇用改善事業

### 第 10 安心で安全な国土形成への支援活動事業

- 1．東日本大震災復興事業
- 2．熊本地震災害復旧・復興事業
- 3．防災協定の締結推進

学会の日・眼・芽 第 82 回

## 街路樹について思うこと

（公社）日本造園学会 北海道支部長 （株）ドーコン 都市・地域事業本部 理事 大塚 英典

近年、街路樹の管理が大きな問題となっている。昭和 40 年代頃から盛んに植栽された街路樹が、大きくなって家屋や電線に接触するなどの支障が生じていること、老朽化により危険木が増えたことなどより、維持管理の作業や費用が増加している。

また、日照障害、落ち葉の処理、除雪で邪魔になるなど、苦情も増加していると聞く。樹木が無くなってしまった植樹樹を見ることも珍しくない。そろそろ街路樹植栽の考え方を改めた方が良いように感じている。

◆

最近、注目していることにレイン・ガーデン（雨庭）がある。これは雨水の調整池的な機能を持たせた緑地のことである。雨水流出量の調整、雨水の還元、排水の浄化が期待できる。

道路排水においても、道路面より低い位置に整備した植樹スペースに雨水を導水し、雨水を貯留、浸透させることが行われている。

このようにすれば、植樹スペースは緑化機能だけではなく複合的な機能を発揮することになる。雨水が流入する環境となるので、生物多様性の観点も加えて自然度の高い個性的な緑地を創造することも可能だと思う。

自然の力を活用して社会資本整備や土地利用、防災・減災に取り組むグリーンインフラストラクチャーの一環として、道路の植樹スペースも多様性の高い空間として活用することを期待したい。

◆

植樹スペースの活用でもうひとつ注目したいのは住民活動による積極的な利用である。これまでも、町内会や PTA

の活動、企業の社会貢献活動などにより道路の花植えなどが行われている事例は多い。

しかし、これらの活動の多くは、既定の植樹樹や植樹帯に花植えしているのがほとんどである。植樹スペースを、地域の方々の望みに合わせて柔軟な形で運用することができれば、もっと多様な緑化が実現できるような気がする。

北海道恵庭市恵み野の商店街では、道路の植樹樹を利用して小庭を整備した。思い思いに工夫された個性的な小庭が連続する通りは、季節の彩りが美



植樹樹に造った小庭（恵庭市恵み野の商店街）

しく、歩いて楽しい。

この事例のように、植樹スペースを地域の方々が庭のように利用できれば、景観が良くなるだけではなく、地域コミュニティの活性化にもつながると思う。商店街ではぜひ取り組んでもらいたいと思っている。

◆

道路の植樹スペースは貴重な空間である。街路樹の管理にとどまらず、積極的な活用を提案したいと考えている。



# 日造協の 資格認定制度

## 街路樹剪定士…“美しいまちの顔 街路樹”を守り育てる専門家

専門的な知識と卓越した技術・技能を駆使して、街路樹の健康・美観・機能と効用を守り育てています：この認定制度は、1999年に発足しました。樹木の生理・生態に関する知識、伝統的な職人芸ともいえる剪定技術を有することを証明する制度です。

制度設立の背景：市街地内の景観形成や生物の拠り所となる街路樹は、厳しい生育環境のなかで常にストレスにさらされています。この街路樹を適切な方法で

日造協では、造園建設業の質の向上を目指し、さまざまな資格認定制度を設けています。

本号では、その概要を紹介します。開催日程等は日造協ホームページをご覧ください。

守り、育てるスペシャリストが求められています。また、樹木は千差万別で、樹種や環境に合せた剪定ができる優れた技術者が求められています。

期待される役割：①街路樹の個性差に合せた剪定を行う技術を保持しています。②街路樹の健康を守り、美しい景観の維持に貢献できます。③連続性・統一性のとれた街路樹を創りあげる技術を保持しています。

良好な街路樹



こうなる前に



## 第33回 全国都市緑化よこはまフェア

# ガーデンネックレス横浜 2017

平成29年3月25日から6月4日の72日間、横浜で全国都市緑化フェアが開催されています。

開港の歴史とともに作りあげてきた公園緑地や都市臨海部の花や緑による美しい街並み、自然豊かな里山など、横浜ならではの魅力にさらに磨きをかけて、「ネックレス」のように、まち、人、時をつなぎ、歴史と未来の街・横浜で、花と緑の新たな物語の始まりです。

メイン会場は、「みなとガーデン」と「里山ガーデン」の大きく2つ。

歴史と未来の姿をあわせた景観を持つ都市臨海部を中心とする「みなとガーデン」は、色鮮やかな花々で彩られる日中の風景と光のアートで魅せる幻想的な夜の風景で、移りゆく時間の流れも楽しむ

ことができます。

里山の魅力とその楽しみ方を存分に味わえる「里山ガーデン」は、自然豊かな里山と色とりどりの花々が織りなす風景美にふれ、思いっきりからだを動かして自然を全身で楽しむことができます。

メイン会場のほかにも、花や緑の魅力あふれるたくさんの施設「パートナー会場」を設定し、よこはまフェアの愛称であるガーデンネックレスの実現にも大きな役割を果たします。

パートナー会場としては、三溪園、八景島、よこはま動物園ズーラシアなど7会場、その他横浜市内18区でも様々な取組みが行われています。

それぞれにふさわしい花と緑が皆様をお迎えしますので、ぜひ、会場までお越

## 植栽基盤診断士…“植物が良好に育つ土壌環境”を整える専門家

土壌や植物などの幅広い専門知識を駆使して、緑地空間の創出と保全に取り組んでいます：植栽基盤整備にかかわる総合的なスペシャリストで、植物の正常な生育に適した植栽基盤の確保を目指し、植栽地の土壌の調査・診断・改善処方立案を行います。

制度設立の背景：植栽地の地盤不良は、植栽樹木の枯損や生育不良の最大の原因のひとつと考えられています。「植物が正常に生育できるような状態になっている地盤」を創るためには、土壌・植物・植栽に関する知識と経験、および土壌調査・診断結果を基にした処方能力を有するスペシャリストが求められています。

期待される役割：①植栽予定

## 登録造園基幹技能者…建設現場の生産活動の中核的役割

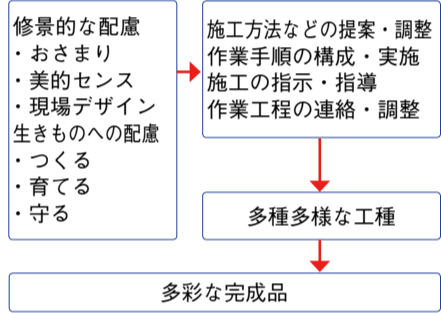
造園工事の中心的役割を担い、効率の良い作業、質の高い空間創造を可能にします：施工方法、植物の生理・生態、造園デザインなど、幅広い知識と豊富な経験を有し、現場作業の効率化のために活躍するのが登録造園基幹技能者です。

制度設立の背景：さまざまな工種をくみあわせることなくしては、目的とする造園工事を完成させることはできません、現場管理者には多くの工種に精通した幅広い知識、優れた空間創造を可能にする美的感性、施工現場の総合的な管理能力を有することが求められます。そのため、造園工事を多角的に指導・監督できる登録造園基幹技能者の存在が必要不可欠になっています。

地の現況調査と診断ができます。②植栽基盤とするために必要な計画立案ができます。③植栽基盤にかかわる具体的な処方を事業者などへ施工性・経済性を考慮したうえで明確にデータを示しながら技術提案することができます。



期待される役割：①現場の状況に応じて施工方法などを提案・調整することができます。②現場作業を効率的に行うための技能者の適切な配置、作業方法・手順の作成、施工の指示・指導、他業種の職長との連絡・調整など、多岐に渡る分野で活躍できます。



「みなとガーデン」グランモール公園

し頂きますようよろしくお願い致します。また、「みなとガーデン」の近くには世界最大級のチャイナタウン「横浜中華街」、「みなとみらい」や「元町」などもありますので、食事や買い物なども楽しんでください。皆様のお越しをお待ちしております。

## 第33回全国都市緑化よこはまフェア 庭園展コンテスト結果（一部）

企業・団体等から出展された庭園等の技術やデザイン等の評価を行うことにより、出展者の緑化技術の向上を図り、来場者が楽しみながら花と緑に関する知識



(一社) 日本造園建設業協会神奈川県支部出展 「神奈川県知事賞」受賞



「里山ガーデン」 神奈川県支部

や工夫を学べる場を提供することを目的として、このコンテストを実施。

金賞：14作品 銀賞：11作品 銅賞：12作品

このうち、金賞から関連するものとして次の作品が選出されました。



(一社) 神奈川県造園業協会出展 「(一社) 日本造園建設業協会会長賞」受賞



「みなとガーデン」会場のようなす (左小) 山下公園 (上小) 像の鼻パーク (上大) 日本大通り

栃木県  
ふるさと自慢

## 歴史と文化のまち「足利市」 足利氏発祥、日本最古の学校も



足利学校

栃木県といえば、世界遺産の日光の社寺が有名ですが、今回は県の南部にある足利市を紹介したいと思います。

足利は歴史と文化のまちと言われ、室町幕府を開いた「足利尊氏」の足利氏の発祥の地であり、日本最古の学校といわれる「足利学校」があるまちです。

また、書家・詩人の「あいだみつを」が生涯をすごしたまちであり、近年では「あしかがフラワーパーク」が大藤とイルミネーションで有名になりました。

そんな足利の名物は、そばと和菓子です。そばは全国の一茶庵系のそばの源流でもあ



大藤とイルミネーションで有名になった「あしかがフラワーパーク」

る一茶庵本店をはじめとしたおいしい店がたくさんあります。和菓子では最中やいも羊羹、せんべいなどが足利のお土産としてよく使われています。

中でもいも羊羹は舟定さんが有名です。浅草の名店「舟和」でいも羊羹を考案した方が足利にて開店した店で、味も甲乙つけがたいです。あまり日持ちがしませんが、皆さんたべてみてください。

また、最近では「映像のまち」と銘打って映画のロケ地誘致を頑張っています。宮沢りえさん主演の「湯を沸かすほどの熱い愛」の銭湯も市街地にあります。いろいろな映画のロケ地めぐりも面白いと思います。

こんな「歴史と文化のまち」足利にみなさんどうぞお越し下さい。

増田 博一（株増田造園）



いも羊羹は、「舟定」さんが有名。和菓子では、足利のお土産として、最中やおせんべいなどが、よく使われています。



### 事務局の動き

【3月】

- 3(金)・全国高等学校造園教育研究協議会との包括協定調印式
- 6(月)・街路樹剪定士指導員研修会・指導員スキルアップ研修会～3/7
- 7(火)・広報活動部会
- 9(木)・街路樹剪定士指導員研修会 講師打ち合わせ・技術・技能部会
- 10(金)・技能検定関係団体会議
- 14(火)・街路樹剪定士認定委員会（試験部会）
- 16(木)・植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
- 21(火)・造園技術フォーラム部会
- 23(木)・街路樹剪定士認定委員会
- 25(土)・全国都市緑化よこはまフェア開会式～6/4
- 29(火)・運営会議
- 30(水)・総支部長等会議・第2回通常理事会・役員懇談会

【4月】

- 1(土)・春の都市緑化推進運動～6/30
- ・2017日本フラワー＆ガーデンショウ開会式
- ・4(火)・会員拡大プロジェクト推進部会
- ・5(水)・街路樹剪定士制度部会
- ・6(木)・新規制度等部会
- 11(火)・植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）・広報活動部会
- 13(木)・地域リーダーズオンライン会議
- 15(土)・【みどりの月間】～5/14
- ・「桜を見る会」（内閣総理大臣主催）
- 19(火)・造園技術フォーラム及び交流会
- 20(水)・総支部長・支部長合同会議、「花と緑のつどい」
- 21(金)・合同会議メンバー全国都市緑化よこはまフェア視察・資格制度委員会
- 24(月)・登録造園基幹技能者講習試験委員会
- 25(火)・公園緑地樹木管理士講師研修会事前打合わせ

- 26(水)・全国都市緑化祭
- ・全国造園フェスティバル部会
- ・全国都市緑化祭記念祝賀会
- 28(金)・第11回みどりの式典

### 委員会等の活動

- 財政・運営部会  
平成29年度事業計画（素案）、収支予算案（本部）についての審議を行った。（3/23）
- 技術企画部会  
平成28年度各部会（技術・技能部会、造園技術フォーラム部会、技能五輪部会、安全部会、調査・開発部会）の事業報告を行った。（2/21）
- 事業企画部会  
平成28年度各部会の事業報告及び平成29年度各部会の事業計画についての検討を行った。（2/3）
- 事業委員会  
事業委員会において、平成29年度各部会の事業計画についての検討を行った。（2/3）
- 街路樹剪定士指導員研修会・指導員スキルアップ研修会  
「街路樹剪定士指導員研修会」および「街路樹剪定士指導員スキルアップ研修会」を国営讃岐まんのう公園で開催した。（3/6～3/7）
- 戦略立案部会  
平成28年度各部会の事業報告及び平成29年度事業計画の検討を行った。（2/23）

### お知らせ

- 会員の皆様に平成28年度の実態調査を3/25にEメールと郵送でご案内させていただきました。回答はEメールで受け付けております。何卒よろしくお願いいたします。

編集後記 日造協の会員社数も着々と増加し、さらに活気づいてきましたね。広報活動部会としても、より良い会員サービスの向上に、微力ながらお手伝いして参りたいと思っております。今年度もよろしくお願い申し上げます。



### 和のアロマ

石川県支部  
松崎紀子  
（株）グリーンサービス



に団子にして食べるアレ、どれも日本原産の和のアロマでは？！古来から日

買ってしまった、アロマ蒸留器。全くと言っていいほどアロマセラピー（芳香療法）に興味がなかった私ですが、数年前に体調が悪かった時に、植物に由来するアロマ精油をちょっと使ってみようと思ったのです。私の今の体調にはどの精油をどんな風に使えばいいのだろう？と調べてみると、聞いたことのない植物の名ばかり！？で、私にとっては化学薬品を服用するのと同様の怖さを感じてしまいました。それで、アロマインストラクターさんに教わりながら基本の資格だけ取得しましたが、苦手な精油も多く、短絡的ですが、自分自身が「いい香り」と感じることでセラピーの効きもあるとのこと

で、それを最も大切にしよう

と思いました。

そう考えると、春に森の中でふっと香ってきたアノ花の香り、紅葉時季のアノ葉の香り、晩秋のアノ果実の香り、新芽のときに団子にして食べるアレ、どれも日本原産の和のアロマでは？！古来から日



蒸留中



和のアロマ代表  
①柑橘類の中でも耐寒性が強い 地元の無農薬栽培のユズ②和菓子に添えられる爪楊枝クロモジ

本人も植物の香りに慣れ親しみ、利用し、癒されてきている！身近にこんなに素敵なアロマがあるじゃない！と勝手に感動し、精油にしてみんなにも知ってもらいたいと強く思い・・・買ってしまった。

これまでに数種類のものを蒸留してみても精油をとることができましたが、何よりも原材料の採取時や破碎時、蒸留時などの精製過程で最も瑞々しい香りを放っていて豊かな気分になりました。抽出したものを成分分析に出すつもりでいますが、実のところ私の見解は、私にとっては精油を利用するより、身近な里山に入って直接その香りを感じるのが一番！

Feel so good!

人と共に 緑と共に

**ゼノア刈払機 5series**

**BCZ245G / 275G**

**BCZ315**

**ゼノアからハイパワー・強靱な“5”シリーズが新登場**

ジュラルミンパイプ  
**BCZ245G / 275G**  
(22.5cc / 25.4cc / 10"チップソー、4.0kg～/4.5kg～)  
※20cmのロングパイプ仕様もあり

**BCZ315**  
(29.5cc / 10"チップソー、5.2kg～)

超軽量 & ハイパワー  
**BC222STEZ**  
(21cc / 25.4ccチップソー、3.0kg～)  
※ジュラルミン仕様もあり

商品 You Tube でチェック!

**ZHM1550**

**ZHM1550 / ZHM1550**  
(質量1600 / 1,670kg)  
出力: 27.5kW (37.4PS)  
刈幅: 1525mm

※写真はZHM1550PR

ハスクバーナ・ゼノア株式会社

〒350-1165 埼玉県川越市南台1-9

お問い合わせ先 TEL.049-243-3062

受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日除く)

[www.zenoah.co.jp](http://www.zenoah.co.jp)

最新刈払機の動画配信中

業界初! ハンマナイフモア 安全講習動画を公開中